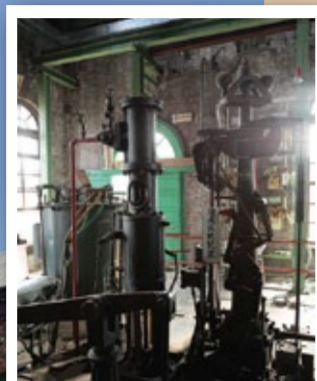
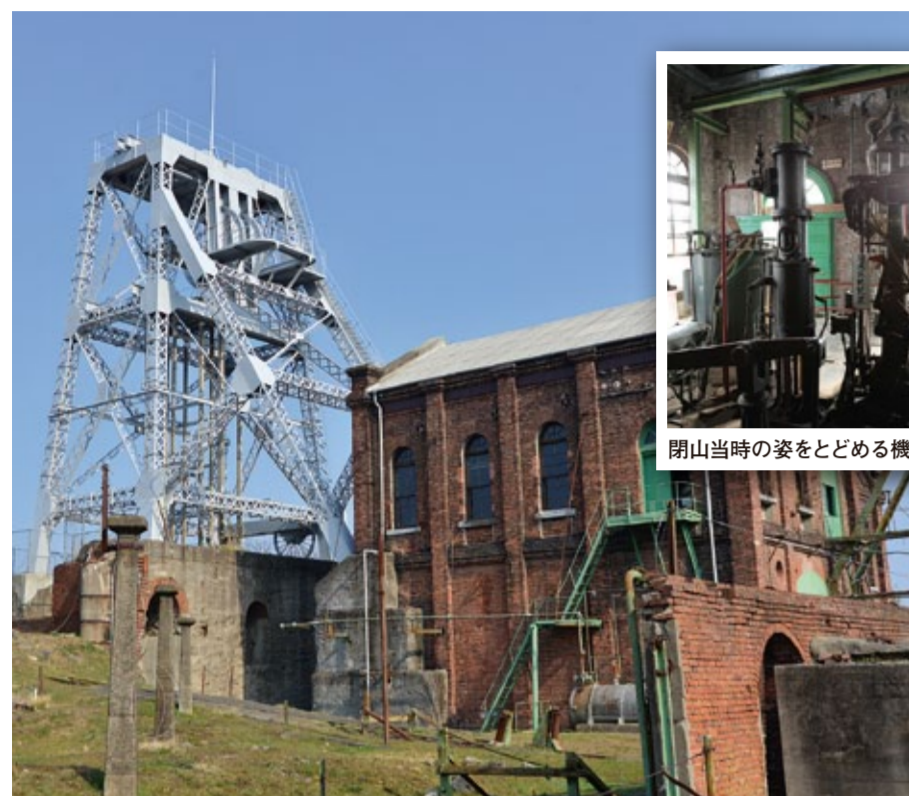


# 「万田坑・三角西港」「天草の崎津集落」「阿蘇」 こんなにあります！熊本が誇る文化遺産

## 歴史と文化の宝庫 熊本県

本県の資産が、2年連続で世界文化遺産として推薦されることが決定しました。これは、熊本県が歴史・文化の宝庫であることの証しといえます。世界文化遺産に登録されることは、地域の宝を人類共通の宝とすること。登録されれば、県民の誇りや夢をかきたて、県民の幸福量の増大にもつながると考えています。一日も早い登録に向け、応援をよろしくお願いいたします。



閉山当時の姿をとどめる機械類

## 明治日本の産業革命遺産 万田坑・三角西港

荒尾市の「万田坑」、宇城市の「三角西港」を含む「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」は、非西洋地域で初めて、かつ、極めて短期間のうちに飛躍的に発展を遂げた、日本の近代化を象徴する貴重な文化遺産です。その中でも、「万田坑」「三角西港」は、日本の近代化に大きな役割を果たした「石炭」の採掘や海外輸出を担った代表的な資産で、当時の状態が良好に維持されているとして高く評価されています。「明治日本の産業革命遺産」は、平成26年1月に国からユネスコへ推薦書が提出され、同10月にはユネスコの諮問機関「イコモス」による現地調査が実施されました。今後は、イコモスとのやりとりを経て、順調にいけば平成27年6月頃にドイツで開催される世界遺産委員会で登録される予定です。

熊本県初の世界文化遺産登録を目指すモン!



総延長750mにおよぶ石積埠頭



## 長崎の教会群とキリスト教関連遺産 天草の崎津集落

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は、天草・長崎地方にもたらされた16世紀および19世紀の西洋文化との出会いにより生じた、日本におけるキリスト教の伝播と浸透のプロセスを示す貴重な文化遺産です。その構成資産の一つである「天草の崎津集落」は、キリスト教禁教下における支配者の取り締まりと密かな信仰、解禁後のキリスト教への復活を示す資産として高く評価されています。「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は、平成26年9月に国からユネスコへの推薦が決定しており、順調にいけば「万田坑」「三角西港」に続き、平成28年夏頃に世界文化遺産として登録される予定です。

漁村集落と教会の雰囲気があるモン!

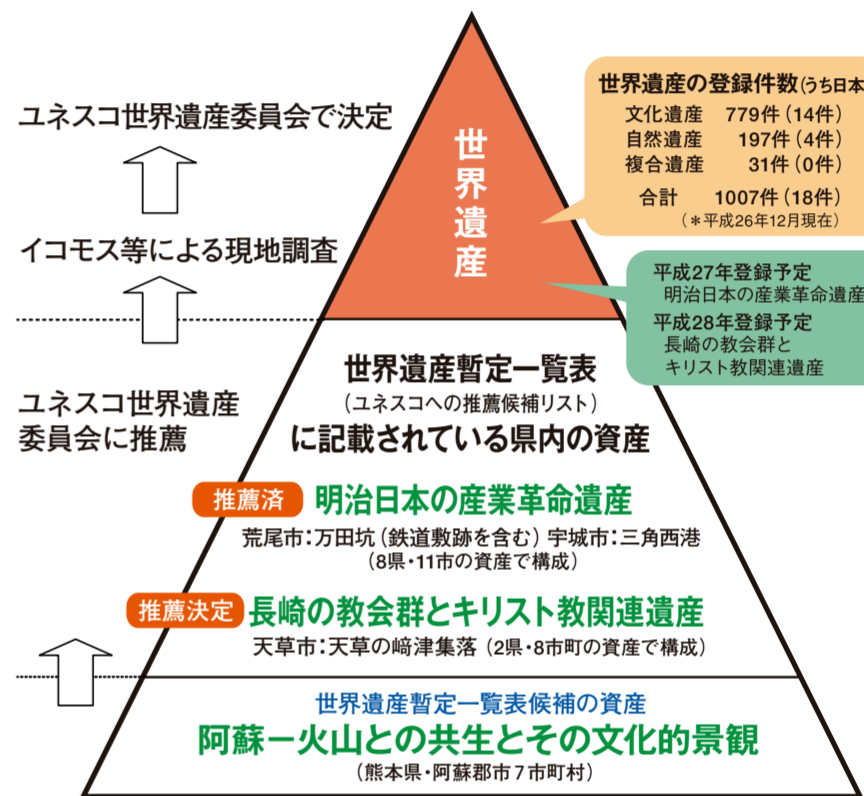


かつて「絵踏」が行われていた庄屋敷敷地に建つ崎津教会



潜伏キリシタンは、表面上、崎津諏訪神社の氏神を信仰していましたが、参拝の際には「あんめりゆうす(アメン、テウス)」と唱え、信仰を守り続けました。

## 世界遺産登録へのプロセス



## 世界文化遺産登録後を見据えて

大切なのは、その土地の本質的な価値を理解すること。世界文化遺産への登録に向けて、様々な取り組みが行われていますが、むしろ大切なのは登録の後です。世界遺産は単なる観光地ではなく、「知的好奇心」をくすぐる上質な学びの場です。先人から受け継いだ貴重な宝を、次世代へ引き継ぐためには、それぞれの「本質的な価値」を理解して、「変えてはいけないもの」「変えてもいいもの」「変えるべきもの」を見極める必要があります。

### 住民が関わっていくことの重要性

熊本の文化遺産は多様性に富んでいます。それぞれの文化遺産の「本質的な価値」の維持と「住民の暮らしやすさ」を両立していけるよう、住民が「持続可能な地域づくり」に関わっていくことが重要だと思います。



景観・地域づくりの専門家  
熊本大学  
政策創造研究教育センター  
准教授・工学博士  
田中 尚人さん

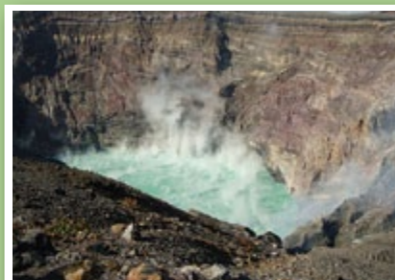
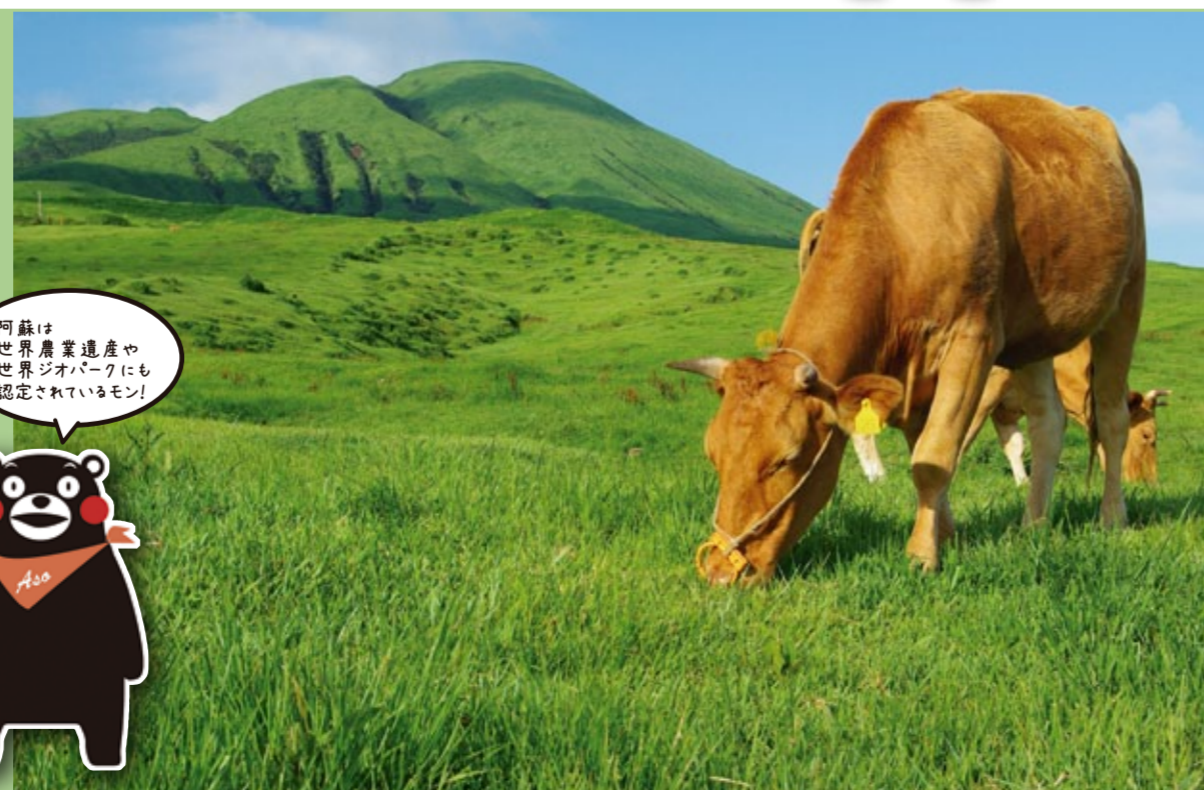
■ 熊本県の世界遺産登録推進に関する詳しい内容は  
熊本県 世界遺産 検索

## 一火山との共生とその文化的景観—

# 阿蘇

「阿蘇」は、活発な火山活動の結果により形成された広大なカルデラとその周辺に7万人もの人々の暮らしが営まれている、世界にも類例をみない地域です。ここでは、火山に畏敬の念を表す信仰や神話・農耕祭事が伝えられてきました。また、人々の長年にわたる「野焼き・放牧・採草」によって維持されてきた広大な草原が残されています。「阿蘇」は、古来より自然と人が絶妙なバランスをもって共生している地域であり、火山地域という過酷な自然環境に向き合った人々の、たくましさや知恵の記憶を現在にとどめる貴重な遺産です。

阿蘇は世界農業遺産や世界ジオパークにも認定されているモン!



活発な活動を続ける阿蘇中岳の噴火口は御池と呼ばれ、阿蘇神社の祭神でもあります。



阿蘇地域では四季を通じて特色ある様々な祭事が行われており、火山と共生してきた人々の営みに強く結びついています。



3万年前の火口跡である草千里ヶ浜は、平成25年に国の名勝及び天然記念物に指定されました。



「野焼き」は、千年の歴史を持つ阿蘇の草原の維持に欠かせない作業として引き継がれています。